【患者さん用】 乳がん術後連携パス　自己チェックシート　　■アロマターゼ阻害剤　　【記入例】

自己チェック項目													術後 ヶ月目
		7／1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
症状（異常）の有無 ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		(有)・無										有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある	○											
	ほてり、発汗がある												
	発疹があり、かゆみがある												
	吐き気がある												
	体重増加がある												
自己検診	患側の腕にむくみがある												
	腕があがらないことがある	△											
	腕を上げると痛みがある	○											
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある	△											
	乳房にしこりがある												
	乳房の痛みがある												
	脇の下に固いものがふれる												
その他													

症状(異常)の有無について、該当するものに○をつけて下さい。
※有と答えられた方は、下記項目にお答え下さい。(○、△)

症状(有)に○をつけられた場合

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

15

【患者さん用】 乳がん術後連携パス　自己チェックシート　　■アロマターゼ阻害剤

自己チェック項目														術後 ヶ月目
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある													
	ほてり、発汗がある													
	発疹があり、かゆみがある													
	吐き気がある													
	体重増加がある													
自己検診	患側の腕にむくみがある													
	腕があがらないことがある													
	腕を上げると痛みがある													
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある													
	乳房にしこりがある													
	乳房の痛みがある													
	脇の下に固いものがふれる													
その他														

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

16

【患者さん用】 乳がん術後連携パス　自己チェックシート

■タモキシフェン

自己チェック項目														術後 ヶ月目
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	不正出血がある													
	おりものが増え、かゆみがある													
	ほてり、発汗がある													
	発疹があり、かゆみがある													
	吐き気がある													
	体重増加がある													
自己検診	患側の腕にむくみがある													
	腕があがらないことがある													
	腕を上げると痛みがある													
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある													
	乳房にしこりがある													
	乳房の痛みがある													
	脇の下に固いものがふれる													
その他														

17

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

はじめに

【連携パス】とは、地域のかかりつけ医と手術を行った施設の医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。

「連携パス」を活用することで、

◎かかりつけ医とがん診療拠点病院が協力して、あなたの治療を行います。

◎患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。

◎患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮による負担軽減になります。

このように、かかりつけ医とがん診療拠点病院が協力しあい、患者さんご自身の治療計画や経過の把握をします。また、かかりつけ医の手厚い診療をすることで、不安の解消といったメリットにつながります。

もくじ

- はじめに：P.1
- 患者基礎情報用紙：P3
- 決定した連携医療機関の一覧　P4
- 乳がん連携パス　5年間スケジュール
  - ◆ 患者さん用共同診療計画表:P5～P6
  - ◆ 患者さん用自己チェックシート（記入例）:P7～P8
- 乳がんの治療について：P9
- 内分泌療法とはどんな治療ですか？：P10
- 内分泌療法が適応になる場合とは？：P11
- 内分泌療法で使われる薬の種類とは？：P12
- どのような副作用がありますか？：P13
- 内分泌療法中に注意することはありますか？：P14
- その他に日常生活で注意することはありますか？：P15
- ホルモン剤の内服の方法は？：P16
- 患者さん用自己チェックシート:P17～36（アロマターゼ阻害剤、タモキシフェン）
- 患者さん用メモ・医療者用連絡メモ:P37～40
- ＿＿＿＿＿＿病院　がん相談窓口のご案内: P41

患者基礎情報用紙

わたしの情報　　記載日　年　月　日

氏名

生年月日　T・S・H　　年　　月　　日

住所

電話

緊急連絡先電話番号

血液型　　型　　身長　　cm　　体重　　kg

アレルギー歴　　**その他**

あり　　なし

くすりの副作用情報

くすり　　症状　　いつ頃

今までにかかった病気

□アレルギー性疾患（　　）

□心臓の病気（　　）

□腎臓の病気（　　）

□肝臓の病気（　　）

□消化器の病気（　　）

□その他　（　　）

3

決定した連携医療機関の一覧

あなたのお名前

さん

（連絡先：　　－　　－　　）

かかりつけ医　（初回受診日　年　月　日　時）

（電話　　－　　－　　）

調剤薬局

（電話　　－　　－　　）

訪問看護ステーション、居宅介護、支援事業所等

（電話　　－　　－　　）

病院担当医

乳腺外科

（連絡先：　　－　　－　　）

4

乳がん連携パス(5年間スケジュール)

患者さん用共同診療計画表（乳がん術後）

■手術日　年　月　日／■ホルモン療法開始日　年　月　日

○必須項目　○印以外は必要時行うようになります。

診療内容			6ヶ月		1年		1年6ヶ月		2年		2年6ヶ月		3年		3年6ヶ月		4年		4年6ヶ月		5年
		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
問診	痛み、発熱、上肢のむくみの有無、その他の症状を確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
視触診	患部側の乳房、肩関節の運動障害、対側の乳房視触診して合併症や再発の有無を確認します。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
検査	血液検査（肝機能、腎機能、腫瘍マーカーをみます）		○		○		○		○		○		○		○		○		○		○
	マンモグラフィー				○				○				○				○				○
	胸部レントゲン（肺に異常な影がないかみます）				○				○				○				○				○
	腹部超音波検査（肝臓やその他の臓器に異常がないかみます）				○				○				○				○				○
	CT（全身の転移の有無をみます）				○				○				○				○				○
	骨シンチ（骨の転移の有無をみます）				○				○				○				○				○
	子宮体癌検診（タモキシフェン内服の場合）				○				○				○				○				○
	骨密度測定（アロマターゼ阻害剤内服の場合）				○				○				○				○				○
投薬	薬を処方します。																				
	抗エストロゲン剤（TAM）																				
	アロマターゼ阻害剤（AI剤）																				
説明	検査結果についての説明や副作用、合併症の対処方法を確認します。																				

担当施設名と通院間隔は施設間の協議によります。
またマンモグラフィ以外の画像検査はがん診療ガイドラインで推奨される項目には指定されていません。フォローアップの検査項目と実施間隔の妥当性は今後の検証が必要です。

5

6

乳がん連携パス(5年間スケジュール：記入例)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

■アロマターゼ阻害剤　【記入例】

自己チェック項目								
		7／1	/	/	/	/	/	術後 ヶ月目 /
症状(異常)の有無 ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		(有)・無				無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある	○						
	ほてり、発汗がある							
	発疹があり、かゆみがある							
	吐き気がある							
	体重増加がある							
自己検診	患側の腕にむくみがある							
	腕があがらないことがある	△						
	腕を上げると痛みがある	○						
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある	△						
	乳房にしこりがある							
	乳房の痛みがある							
	脇の下に固いものがふれる							
その他								

症状(異常)の有無について、該当するものに○をつけて下さい。
※有と答えられた方は、下記項目にお答え下さい。(○、△)

症状(有)に○をつけられた場合

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

7　　8

乳がんの治療について

乳がんは、肉眼的には手術によってがんを取り切ることができますが、なかには再発してしまうこともあります。これは、目に見えないがん細胞がからだに残っているためと考えられています。

そこで、再発の可能性を少なくするために抗がん剤やホルモン剤を用いて残っているがん細胞を攻撃して、やっつける治療を行います。手術の補助的な役割を担うことから、これを「術後補助化学療法」、「術後補助内分泌(ホルモン)療法」といいます。

術後補助化学療法を行うと、手術後に何もしない場合と比べ、再発の可能性を10～15%減少させることが分かっています。乳がんの術後補助化学療法に用いるお薬は、目に見えないがん細胞を攻撃して死滅させ、その増殖を防ぐ働きがあります。しかし、がん細胞だけでなく正常な細胞にも影響を与えてしまうことがあるため、あなた自身によくない影響（副作用）があらわれることがあります。

それに対し、術後補助内分泌(ホルモン)療法は、同様の効果が期待できますが、副作用が軽いとされています。

内分泌療法とは どんな治療法ですか？

女性ホルモン（エストロゲン）の作用を抑制してがんの増殖を抑える治療法です。

乳がんの中には、女性ホルモン（エストロゲン）の働きでがん細胞が増殖する「ホルモン感受性乳がん」があり、全体の6～7割を占めています。

このようなホルモン感受性乳がんに対しては、エストロゲンの作用を抑えることで乳がんの増殖を抑制する内分泌療法（ホルモン療法）が有効です。

内分泌療法は、副作用が比較的少なく身体への負担が軽いのが特徴で、術後に長期間治療を続けることで、乳がんの再発を予防する効果が期待できます。このため、内分泌療法は、ホルモン感受性乳がんの中心的な治療法に位置づけられています。

9　　10

内分泌療法が適応になる場合とは？

がん細胞に、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体が一定量以上ある場合です。

内分泌療法に適しているかどうかは手術などで取り除いたがん細胞を調べることでわかります。

細胞内に女性ホルモンを感知するエストロゲン受容体(ER)やプロゲステロン受容体(PgR)のいずれかが一定量以上ある場合は「ホルモン受容体陽性」となり、内分泌療法の効果が期待できこの治療の適応となります。
化学療法を併用する場合もあります。

一方、これらの受容体の少ない「ホルモン受容体陰性」の患者さんでは、内分泌療法の効果はあまり期待できないため、化学療法が用いられます。

内分泌療法で使われる薬の種類とは？

エストロゲンが作られることを抑える
アロマターゼ阻害剤（毎日内服）

エストロゲンの働きを抑える
抗エストロゲン剤（毎日内服）

女性ホルモンの低下やエストロゲンの働きを抑える
プロゲステロン製剤（毎日内服）

女性ホルモンを作る指令を抑える
LH・RHアゴニスト製剤
（４週または12週に１回皮下注射）

などの薬が使われます。

アロマターゼ阻害剤は、主に閉経後の人に、LH・RHアゴニスト製剤は主に閉経前の人に使われる薬です。

どの薬剤を使うかについては、年齢や閉経状態、治療歴などを考慮しながら選択します。

どのような副作用がありますか？

内分泌療法の副作用は比較的少ないといわれていますが、その症状の種類や程度には個人差があります。
よくみられる症状としては、低エストロゲン状態という更年期障害に似たほてり、発汗、めまいや、関節痛、肝機能異常、性器出血、吐き気などです。また、エストロゲンは骨を健康的に保つ働きも持つため、低エストロゲン状態により、骨粗しょう症や骨折が起こりやすくなります。治療中は骨密度などの状態を定期的に観察することや、肝機能検査を定期的に行うことがすすめられていますので、医師の指示に従ってください。
つらい症状や気になる症状がある場合は、遠慮せず、医療スタッフに相談しましょう。

- ほてり・発汗
  顔や身体が熱くなったり、部分的または全身的に汗をかきやすくなります。更年期症状を抱えている人は、よりひどい症状になることがあります。
- 吐き気
  気持ちが悪くなったり、吐き気がしたりします。吐き気がひどい場合は、無理して食べずに医師に相談しましょう。
- 疲れやすい（疲労感）
- 発疹
- 性器からの出血、おりものが出る
- なかなか眠れない、寝ている時に何度も目が覚める
- めまい
- 身体の節々が痛い（関節痛）
- 手足のしびれ

内分泌療法中に注意することはありますか？

内分泌療法により、骨塩量(骨密度）が低下する場合があります。日頃から、カルシウムの多い食事や適度な運動を心がけてください。

- 食事のバランスを考えてカルシウムを十分に摂る
  日本人の１日のカルシウム必要量は600mgといわれています。カルシウムは骨の形成には特に重要で、乳製品や大豆、小魚に多く含まれています。また、カルシウムだけでなく、ビタミンDやビタミンKも骨の形成に必要です。日頃からこれらの栄養素をバランスよく摂りましょう。
  カルシウムを多く含む食品
  牛乳、乳製品、小松菜、チンゲン菜、大豆製品、小魚、干し海老など
  ビタミンDを多く含む食品
  きくらげ、サケ、ウナギ、サンマ、メカジキ、カレイなど
  ビタミンKを多く含む食品
  卵、納豆、ほうれん草、小松菜、にら、ブロッコリー、サニーレタス、キャベツなど
- 適度な運動を行う
  適度な運動により、カルシウムが骨に蓄積されます。特に歩くことは運動の基本ですので、１日6000歩ぐらいを目安に歩くようにしましょう。また、朝の手足のこわばりなどには、起き掛けに手足を動かすことが効果的だといわれています。
- 日光浴をする
  皮膚にあるビタミンDは紫外線により活性化されカルシウムの吸収が高まります。適度な運動とともに、日光にも当たるようにしましょう。

その他に日常生活で注意することはありますか？

基本的にこれまでの生活を変える必要はありません。無理をせず、いつも通りに生活してください。

食事、飲酒、喫煙のこと

バランスのとれた食事を心がけ、飲酒はほどほどに、喫煙は健康を害するおそれがあるのでやめましょう。

ホルモン剤以外の薬のこと

他に薬を服用している人は、必ず主治医に伝えてください。また、市販薬を服用する場合は、服用前に医師の確認が必要です。作用の違う薬を一緒に服用するとホルモン剤や市販薬の効き目が強くなったり、また逆に弱くなったりすることがあります。

性生活のこと

これまで通りで大丈夫ですが、タモキシフェンの使用中は避妊が必要です。治療中に膣の乾燥などが起こった場合には、潤滑ゼリーや潤滑剤付きのコンドームを使用するのもよいでしょう。

ホルモン剤の服用方法は？

1日1回服用します。

【飲み忘れ時の対応】
- ●昼過ぎまでに気付いたとき：すぐに飲みましょう
- ●昼過ぎ以降に気付いたとき：その日は飲むのを中止し、次の日から正しく飲みましょう

標準的な飲み方

5年間、毎日続けて飲みます

朝 ←→ 昼過ぎ

1回に1錠内服します

飲み忘れに気付いた・・・今日はお休み！

■副作用があらわれた場合は、**一定の期間お休みする**こともありますが、十分な効果を引き出すためには、決められた期間服用を続けることが大切です。

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後1年目)

【患者さん用】 乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

■アロマターゼ阻害剤

								術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後2年目)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

19

■アロマターゼ阻害剤

								術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

20

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後3年目)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

21

■アロマターゼ阻害剤

								術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

22

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後4年目)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

23

■アロマターゼ阻害剤

								術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

24

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後5年目)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	関節の痛みがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

25

■アロマターゼ阻害剤

								術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

26

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後1年目)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	不正出血がある				
	おりものが増え、かゆみがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

27

■タモキシフェン

									術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

28

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後2年目)

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	不正出血がある				
	おりものが増え、かゆみがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

29

■タモキシフェン

									術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

30

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後3年目)

【患者さん用】 乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	不正出血がある				
	おりものが増え、かゆみがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

31

■タモキシフェン

									術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

32

乳がん連携パス(5年間スケジュール：術後4年目)

【患者さん用】 乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	不正出血がある				
	おりものが増え、かゆみがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 → ○ はい △ ときどき

33

■タモキシフェン

									術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

34

【患者さん用】乳がん術後連携パス　自己チェックシート

自己チェック項目					
		/	/	/	/
特に異常なし ※何らか症状がある場合は下記項目に印をつけて下さい		有・無	有・無	有・無	有・無
副作用	不正出血がある				
	おりものが増え、かゆみがある				
	ほてり、発汗がある				
	発疹があり、かゆみがある				
	吐き気がある				
	体重増加がある				
自己検診	患側の腕にむくみがある				
	腕があがらないことがある				
	腕を上げると痛みがある				
	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある				
	乳房にしこりがある				
	乳房の痛みがある				
	脇の下に固いものがふれる				
その他					

◆ 記入方法 ー ○ はい △ ときどき

35

■タモキシフェン

								術後 ヶ月目
/	/	/	/	/	/	/	/	/
有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

36

～ 患者さん用メ モ ～

年月日	気になることなどあれば自由にご記載下さい	サイン

37

～ 患者さん用メ モ ～

年月日	気になることなどあれば自由にご記載下さい	サイン

38

～医療者用　連絡メモ～

年月日	連絡事項等あればご記載下さい	サイン

39

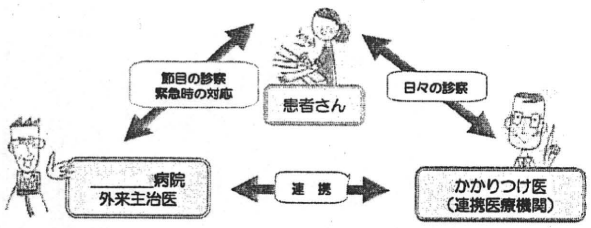
～医療者用　連絡メモ～

年月日	連絡事項等あればご記載下さい	サイン

40

＿＿＿＿＿＿病院
がん相談窓口のご案内

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるようにがん相談窓口で相談をお受けしています。
入院時から退院後の生活を視野に入れ、不安なく療養していただけるように、患者さんやご家族の状況に合わせて、退院後の生活に必要なサポートについて、主治医、病棟の看護師、地域の医療・福祉関係者とも考えてまいります。
また、がん診療連携拠点病院として、がんに関する相談もお受けしております。
地域医療機関との医療連携を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関（かかりつけ医）と当病院とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たしています。



ご心配な点があれば、まずはかかりつけ医にご相談ください。
なお、かかりつけ医に連絡がつかない場合は、以下の連絡先にご連絡ください。

◆問い合わせ先

41

平成22年度厚生労働科学研究費補助金(がん臨床研究事業)

「全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発」班

研究代表者:谷水正人

オープンカンファレンス

テーマ「がん地域連携クリティカルパス成立への道程2011」

日時:平成23年3月13日(日)午後1時〜午後5時

場所:東京女子医科大学　弥生記念講堂

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1

目　次

1．谷水班総括報告 1
谷水正人　　国立病院機構四国がんセンター

2．がん診療連携拠点病院らにおける　がん地域連携クリティカルパス現状アンケート ... 4
下村裕見子　　東京女子医科大学病院　地域連携室　クリニカルパス推進室

3．医療連携室機能の標準化と質の評価　～質評価プロジェクトの取り組み～ 10
木佐貫　篤　　宮崎県立日南病院　医療管理部　医療連携科

4．がん診療地域連携パスの運用における連携コーディネート機能の検討 14
浜野公明　丹内智美　　千葉県がんセンター地域医療連携室

5．がん地域連携パス実務者への研修プログラム開発の試み 17
船田千秋　河村　進　　国立病院機構四国がんセンター
がん相談支援・情報センター　パス推進委員会

6．東京都の取り組み 19
弓倉　整　　東京都医師会

全国のがん診療連携拠点病院において活用が可能な地域連携クリティカルパスモデルの開発 (H20-がん臨床-一般-002)

研究者氏名	所属
谷水正人(研究代表者)	四国がんセンター
池垣淳一	兵庫県立がんセンター
河村進	四国がんセンター
佐藤靖郎	済生会若草病院
住友正幸	徳島県立中央病院
田城孝雄	順天堂大学医学部付属病院
藤也寸志	九州がんセンター
梨本篤	新潟県立がんセンター
浜野公明	千葉県がんセンター
武藤正樹	国際医療福祉大学
望月泉	岩手県立中央病院
池田文広	前橋赤十字病院
里井壯平	関西医科大学付属病院
朝比奈靖浩	武蔵野赤十字病院
班長協力者	
舩田千秋	四国がんセンター
池谷俊郎	前橋赤十字病院
木佐貫篤	宮崎県立日南病院
田中良典、泉 並木	武蔵野赤十字病院
奈良林至	埼玉医科大学国際医療センター
若尾文彦	国立がん研究センター

連携パスモデル開発研究班の重点課題

1. 連携パスのひな型を開発する

- ひな型の開発と提示
- 連携パスの全国での開発状況を調査
- 先進地域のネットワーク構築事例の集積

2. 連携パスを稼動させる仕組みを整理し、提案する

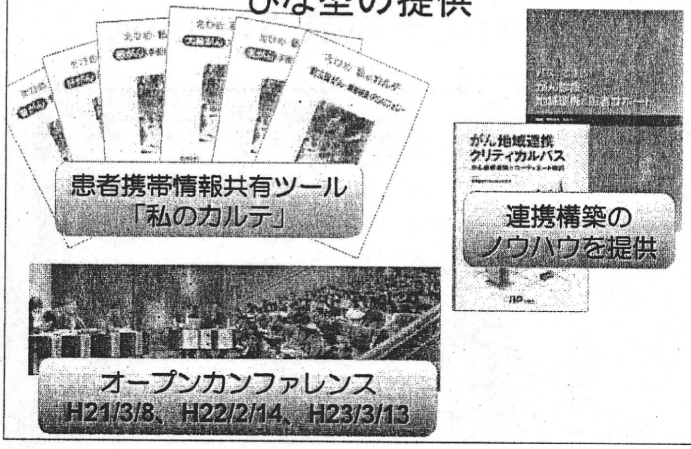
- 連携コーディネート機能の明確化
- 連携の基本的技術の整理、マニュアル化

ホームページへの公開　http://soudan-shien.on.arena.ne.jp/hina/index.html
オープンカンファレンスの開催(東京)　H21/3/8、H22/2/14、H23/3/13

連携担当者研修の実施

医療連携、かかりつけ医の普及により期待される効果
1) 標準治療の普及、医療の質保証
2) 医療機関の機能分化、役割分担
3) 患者の受療行動の改善、QOLの向上

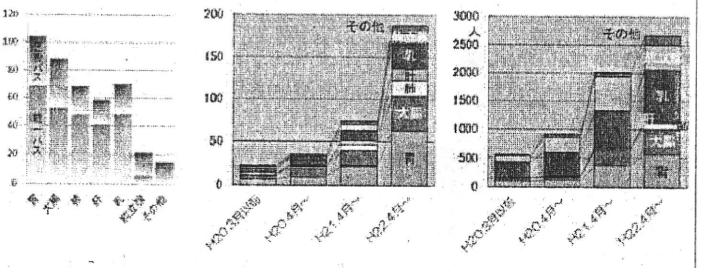
ひな型の提供



拠点病院(準拠点を含む)の全国アンケート調査

H23年1月調査、回答207施設／470施設

都道府県統一パス／施設パス　　適応あり医療機関数　　適応患者数



診療報酬算定　1214件(H22年4月～)

バリアンス(脱落、中止例)分析

肺がん術後226例(H17/5－21/5)の検討:住友正幸(班員)

再発39例、他病13例、他がん7例

連携の中断13例(→再連携5例)、行方不明14例:22例(9.7%)

乳がん術後270例(H20/7－21/6)の検討:浜野公明(班員)

身体的理由16件、社会的理由13件、その他1件

連携の中断9件、行方不明2名:11名(4.1%)

直接的患者支援機能

千葉県がんセンター
浜野公明(班員)

時期	診療の場面	連携にかかわる患者への介入	担当者
入院前	地域連携パスの概略説明	連携を前提とした診療計画全体の説明	主治医
入院(退院時)	地域連携診療計画書の説明と提供	連携を前提とした診療計画全体の説明	主治医
		連携医療機関選択の支援	主治医
	地域連携パスの適用	診療計画についてのオリエンテーション	主治医および外来看護師
外来(退院後)	連携医療機関への紹介	連携医療機関選択の支援	主治医または外来看護師
		医療連携についてのオリエンテーション	主治医または外来看護師
連携診療中	診療計画に基づく診療	連携診療にかかわる患者からの相談への対応	外来看護師
再発時	再発診断	再発に関する患者の不安への対応	主治医および外来看護師

診療の場面で連携にかかわる介入を患者に対して行うコーディネート機能であり、主治医と外来看護師が担当していた。

連携マネジメント機能

千葉県がんセンター
浜野公明（班員）

診療の場面		連携診療を円滑に行うための業務	担当部署	担当職種
入院前	連携医療機関選択前	地域連携パス使用の可否を個別医療機関に確認	地域医療連携室	看護師
		地域連携パス対応医療機関リストの管理	地域医療連携室	看護師
		厚生局への同時届出の手配	地域医療連携室	看護師
入院	退院時	連携医療機関への診療情報提供文書の発行管理	地域医療連携室	事務員
外来（退院後）	地域連携パスの適用	連携予定医療機関のパス使用可否を医師に連絡	地域医療連携室	看護師
		地域連携パス適用患者リストへの登録	地域医療連携室	事務員
	連携医療機関への紹介	診療情報提供書の発行管理	地域医療連携室	事務員
			外来	看護師
		がん治療連携計画策定料算定状況の通知	地域医療連携室	看護師
連携診療中	診療計画に基づく診療	再診・検査の予約管理	地域医療連携室	事務員
		連携医療機関からの情報提供の受付	地域医療連携室	事務員
		連携医療機関からの相談への対応	地域医療連携室	看護師
再発時	再発診断	再診の予約受付・手続き	地域医療連携室	事務員
		バリアンス患者リストへの登録	地域医療連携室	事務員
（適宜）		院内運用フローの整備	地域医療連携室	看護師
		バリアンス分析	地域医療連携室	看護師

診療の場面以外で連携診療を円滑に行うための調整等の業務を院内外の医療者に対して行うコーディネート機能であり、医療連携室の看護師と事務員が担当していた。

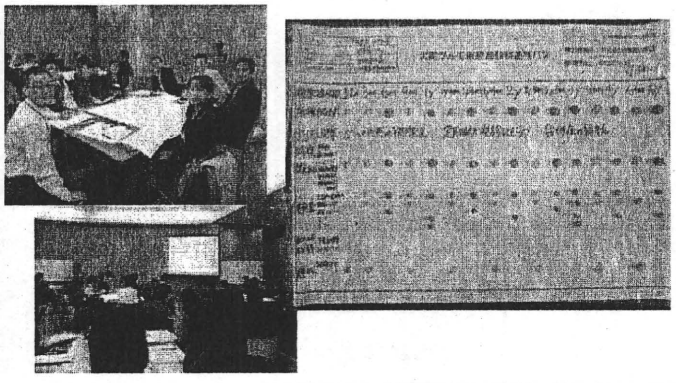
連携担当者に求められる技能

1. 連携に関する十分な基礎知識・基礎技術がある
   - 地域の医療資源・社会資源、医療制度
   - 基礎となる医療知識、クリティカルパスの知識
2. 連携のための事務機能を遂行できる
   - 連携パスの開発・管理・分析
   - データ集積・分析・フィードバック
   - 研修会・連絡調整会議の開催
3. コミュニケーションスキル、企画調整能力がある
   - 患者個々のニーズが把握できる
   - 患者個々に対応した医療連携を構築できる
   - 医療関係者間の連絡調整が正しく実施できる
     - 多職種・多事業所間の調整、福祉・行政の調整
   - 連携に伴い生じた問題に適切に対応できる

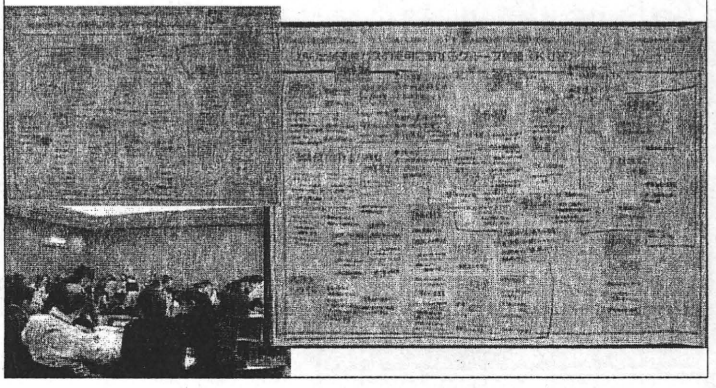
研修 → 1から3についてシラバスを作る、グループワーク、ロールプレイ（連携パスの導入運用、退院調整）を入れる

がんの連携パス研修会（H22/11/11,12、松山）
1日目：連携パス作成グループワーク

河村 進（班員）
藤也寸志（班員）
舩田千秋（協力者）

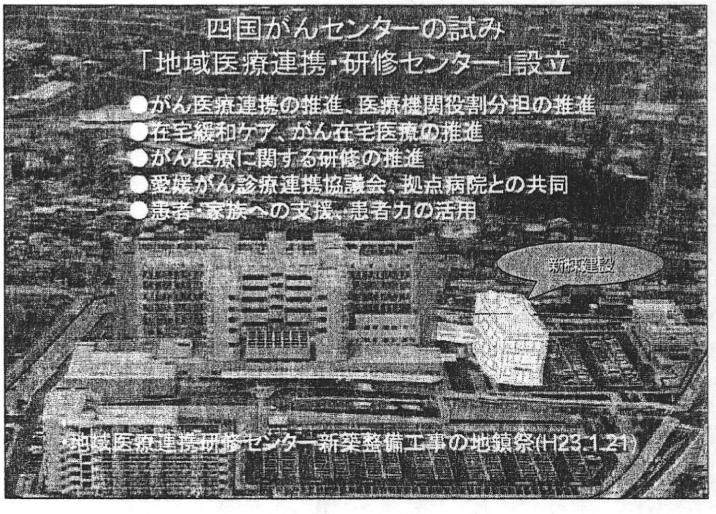


2日目：KJ法を用いたグループワーク
「連携パスはなぜ普及しないのか」



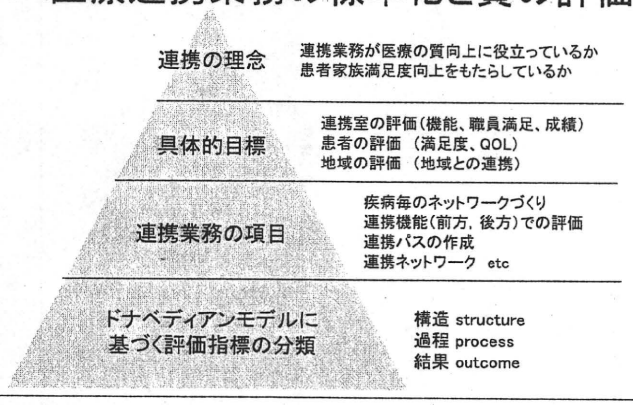
避けて通れない病院内の改革
地域医療連携を担うための意識、組織

- 職員の意識改革
  - チーム医療、入院クリティカルパスの浸透
- 医療連携室の重視
  - 病院長直轄の院内横断的な組織
  - 事務部門課長級の配置、医長、看護師長の配置
  - 相応の人員（専従、専任）配置、短期間で回る配置転換
- 院内の連携体制
  - 診療グループ別の病棟編成
  - 病棟と外来のシームレスな看護師の動きとそのマネージメント



宮崎県立日南病院
木佐貫篤（協力者）

医療連携業務の標準化と質の評価

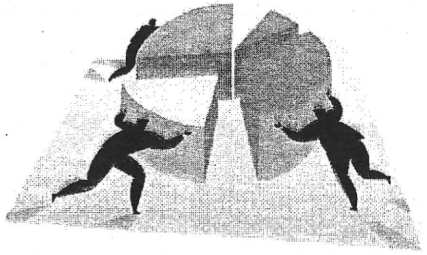


本研究班3年間の総括

- 「がんの連携パス」は単純にかかりつけ医の普及、共同診療体制の改善を目指すものではなく、医療提供側（病院、診療所）、受け手側（患者・家族）で統一されていない医療への期待、志向のベクトルを標準治療、患者QOLの視点から方向付けることを目指している。
- 本研究班3年間の活動はがんの連携パス導入と普及に貢献したと総括したい。
- 「がんの連携パス」に求められる課題・使命は大きく、今後も継続的な研究が求められる。

ひな型の継続的な開発と改良
医療連携コーディネート機能と方法論の標準化と検証
医療者、国民の意識改革へのアプローチ

がん診療連携拠点病院らにおける
がん地域連携クリティカルパス現状アンケート



東京女子医科大学病院
地域連携室、クリニカルパス推進室
下村　裕見子

2011年3月13日

[方　法]

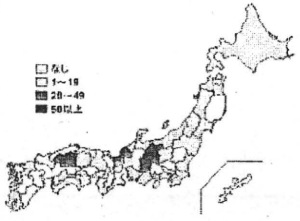
がん診療連携拠点病院ら
（都道府県認定病院 含む）
病院長宛に郵送にてアンケートを実施。

回収期間：平成22年12月25日～平成23年1月20日
郵送数：469通
回答数：207通（回収率　42.33%）

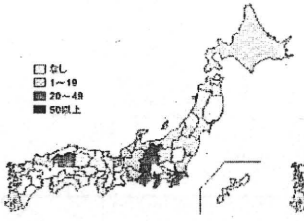
胃

<パス適応人数>

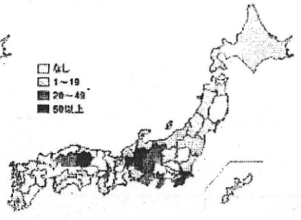
H20.3月以前



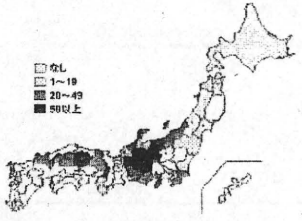
H20.4月～H21.3月末



H21.4月～H22.3月末



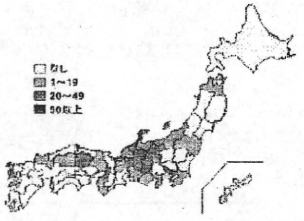
H22.4月～H22.12月末



<都道府県統一パス>

・青森県　・滋賀県
・宮城県　・大阪府
・山形県　・兵庫県
・群馬県　・和歌山県
・千葉県　・岡山県
・東京都　・山口県
・新潟県　・徳島県
・富山県　・香川県
・石川県　・愛媛県
・福井県　・福岡県
・長崎県

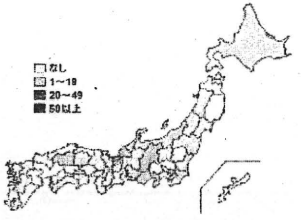
診療報酬



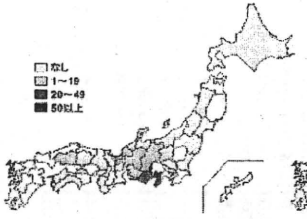
大腸

<パス適応人数>

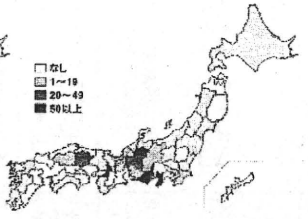
H20.3月以前



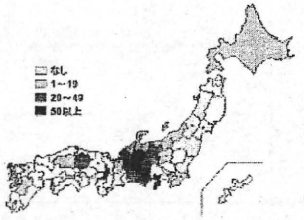
H20.4月～H21.3月末



H21.4月～H22.3月末



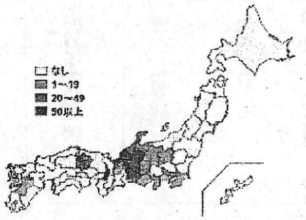
H22.4月～H22.12月末



<都道府県統一パス>

・宮城県　・滋賀県
・山形県　・大阪府
・群馬県　・兵庫県
・千葉県　・和歌山県
・東京都　・岡山県
・新潟県　・徳島県
・富山県　・香川県
・石川県　・愛媛県
・福井県　・福岡県
・愛知県

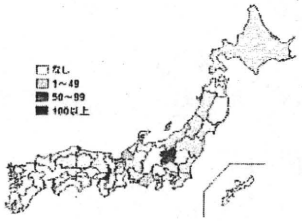
診療報酬



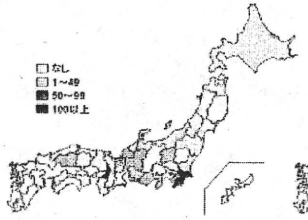
乳がん

<パス適応人数>

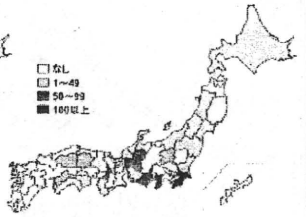
H20.3月以前



H20.4月～H21.3月末

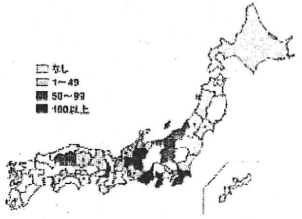


H21.4月～H22.3月末

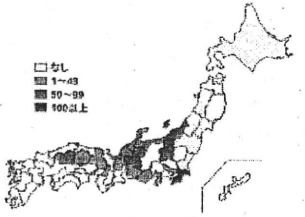


H22.4月～H22.12月末

<都道府県統一パス>
・宮城県　・愛知県
・山形県　・大阪府
・群馬県　・兵庫県
・千葉県　・和歌山県
・東京都　・岡山県
・新潟県　・広島県
・富山県　・徳島県
・石川県　・香川県
・福井県　・愛媛県



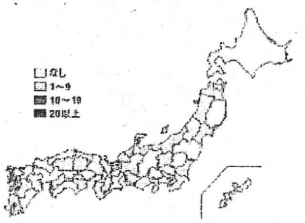
診療報酬



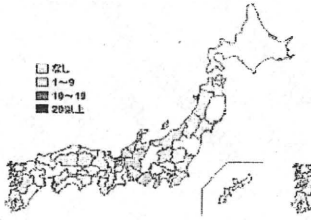
肺

<パス適応人数>

H20.3月以前



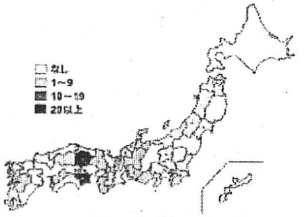
H20.4月～H21.3月末



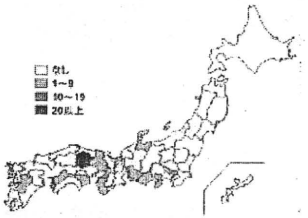
H21.4月～H22.3月末

H22.4月～H22.12月末

<都道府県統一パス>
・青森県　・愛知県
・宮城県　・滋賀県
・山形県　・大阪府
・群馬県　・兵庫県
・千葉県　・和歌山県
・東京都　・岡山県
・新潟県　・徳島県
・富山県　・香川県
・石川県　・愛媛県
・福井県



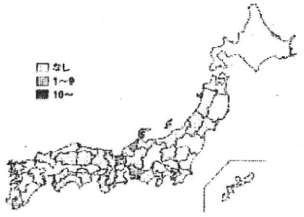
診療報酬



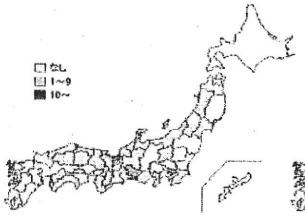
肝

<パス適応人数>

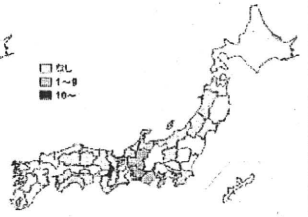
H20.3月以前



H20.4月～H21.3月末

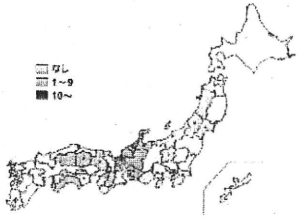


H21.4月～H22.3月末

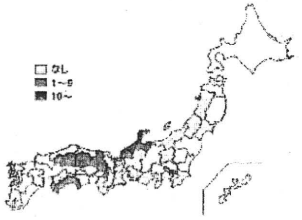


H22.4月～H22.12月末

<都道府県統一パス>
・宮城県　・滋賀県
・山形県　・大阪府
・群馬県　・兵庫県
・千葉県　・和歌山県
・東京都　・岡山県
・新潟県　・徳島県
・富山県　・香川県
・石川県　・愛知県
・愛知県



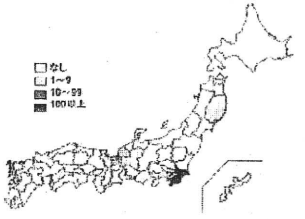
診療報酬



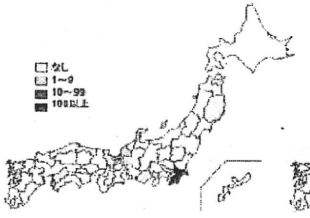
前立腺がん

<パス適応人数>

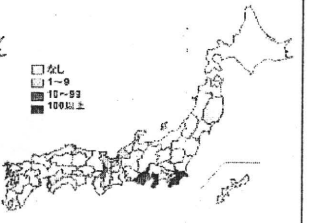
H20.3月以前



H20.4月～H21.3月末

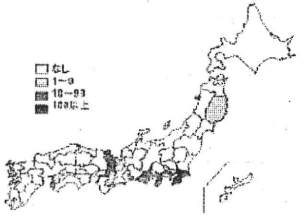
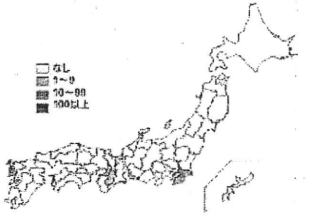


H21.4月～H22.3月末



H22.4月～H22.12月末

<都道府県統一パス>
・東京都
・大阪府
・愛媛県



診療報酬